<様式1> 管理運営状況評価書

は選択入力項目

は自動計算のため入力不要

【対象年度:平成29年度】

(①歴史・文化施設)

I 施設概要・利用情報

(単位:人、%、円、日)

施設名	遠州南部とうもんの里総合案内所		担当課名	農林課	記入者職氏名	赤堀嘉巳
区分	内容・説明					
1 施設及び指定管理者の状況	(1)設置条例名	遠州南部とうもんの里総合案内所条例				
	(2)施設設置目的	遠州南部地域の農村文化及び観光資源の総合的な情報提供並びに地域の活性化を図るため。				
	(3)施設が有する設備、機能の概要	総合案内コーナー、研修室、加工体験室(調理室)、特産物展示スペース				
	(4)施設建設年度	平成18年度				
	(5)耐震性能の有無	有				
	(6)将来予想される改修経費(想定年度と費用見込み)	檜修繕及び腐食防止塗装(100万)				
	(7)指定管理者名	NPO法人 とうもんの会				
	(8)指定期間	平成29年 4月 1日 から 平成34年 3月31日 まで				
	(9)債務負担行為設定の有無	☐ 設定あり ☒ 設定なし		※設定ありの場合、(期間 平成 年度～平成 年度) (限度額 千円)		
	(10)施設の管理運営形態	①指定管理料のみによる運営				
	(11)自主事業の有無	☒ 実施あり ☐ 実施なし		※実施ありの場合は、収支状況をⅢ-(3)欄に記入のこと。		
(12)その他事業の有無	☐ 実施あり ☒ 実施なし		※実施ありの場合は、収支状況をⅢ-(3)欄に記入のこと。			
(13)事業報告書提出の有無	☒ 提出あり(地自法第244条の2第7項による提出義務) ☐ 提出なし					
(14)利用者満足度調査等実施の有無	☒ 実施あり ☐ 実施なし		※実施ありの場合、(直近の実施年度 平成 29 年度)			

区分		H27実績	H28実績	H29実績	H30当初	備考		
2 利用状況	(1)施設利用者数	(目標値)	95,000	95,000	95,000	95,000	※協定書に記載した要求水準値を記入してください。	
		(実績値)	104,344	114,886	113,307			
	内訳 (施設・設備ごと)	活動体験者	1,049	1,180	1,079			
		講座受講者	539	486	836			
		団体活動及び視察者数	2,897	2,856	3,224			
		レジ客(出荷者含)	67,267	71,350	74,051			
		案内・ロビー及びイベント広場利用者等	32,592	39,014	34,117			
	(2)稼働率(利用率)						↓備考欄に算定式を記入してください↓	
	(施設・設備ごと)	(定員 人)	A平日昼間					①とうもろこし案内処・・・306回、26,251人
			B平日夜間					②研修室・・・130回、3,935人
			C土日祝昼間					③体験加工室・・・81回、2,249人
			D土日祝夜間					④展示室・・・345回、74,051人
(定員 人)		A平日昼間					⑤イベント広場・・・89回、5,574人	
		B平日夜間					⑥事務・管理・・・315回、1,247人	
		C土日祝昼間					平成29年度利用者合計①～⑥ 113,307人	
		D土日祝夜間						
(定員 人)		A平日昼間						
		B平日夜間						
		C土日祝昼間						
		D土日祝夜間						

2 利用状況	(施設・設備ごと)	(定員 人)	A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					
		(定員 人)	A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					
		(定員 人)	A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					
区分			H27実績	H28実績	H29実績	H30当初	備考	
3 管理・運営状況	(1)指定管理者名						※1-(7) 現在の指定管理者と異なる年度のみ記入	
	(2)利用者一人当たりの運営経費		50	46	49			
	(3)運営日数		306	308	306	306		
	(4)運営人員	①正規職員	0.0	0.0	0.0	0.0	※指定管理者の組織構成員全体の人数ではなく、当該指定管理施設で働いている実人数を記入してください。	
		②臨時職員	9.0	9.0	9.0	9.0		

II 施設管理に係るコスト情報

(単位:円、%)

区分		H27決算額	H28決算額	H29決算額	H30当初予算額	備考
	①人件費	4,598,147	4,697,507	5,006,973	4,872,000	
	②印刷費	280,132	297,738	206,345	288,000	
	③通信費	321,658	311,418	282,155	285,000	

(1)運営コスト(A)	④事務用品、旅費、図書費など					
	⑤借上料					
	⑥保険料、消費税(租税公課)等					
	⑦その他(支払手数料、広告宣伝費、一般管理費、雑費)					
	計	5,199,937	5,306,663	5,495,473	5,445,000	
	対前年度増減率		2.1	3.6	△ 0.9	
区分		H27決算額	H28決算額	H29決算額	H30当初予算額	備考
(2)施設コスト(B)	①管理委託費(外注費)	962,486	964,915	1,300,378	1,121,000	
	清掃業務	323,621	327,748	480,985	486,750	
	公園樹木管理	208,390	207,124	390,664	185,250	
	浄化槽管理業務	201,713	201,713	201,713	220,000	
	防火設備保守事業	60,282	59,850	58,536	60,000	
	防犯警備事業	168,480	168,480	168,480	169,000	
	②修繕費	75,350	148,272	178,556	180,000	
	③光熱水費	1,431,754	1,318,327	1,353,135	1,548,000	
	④燃料費					
	⑤清掃費					
	⑥保守点検費					
⑦その他(施設消耗品)	486,473	417,823	530,458	564,000		
計	2,956,063	2,849,337	3,362,527	3,413,000		
対前年度増減率		△ 3.6	18.0	1.5		
(3)トータルコスト(施設管理費 合計) (A)+(B)		8,156,000	8,156,000	8,858,000	8,858,000	

(4)合計のうち運営コストの割合	63.8	65.1	62.0	61.5
(5)施設の収入 ※1)下記3に入力する	12,960	32,940	23,760	
(6)運営コストのうち利用料収入の割合	0.2	0.6	0.4	

Ⅲ 収支差額の状況 注【指定管理料施設は(1)欄に、利用料金制度又は両制度併用施設は(2)欄に記入。また、自主事業を実施している施設は(3)欄に記入】

(1)指定管理料のみで運営している施設

(単位:円)

区分	H27決算額	H28決算額	H29決算額	備考
a) 施設使用料収入	12,960	32,940	23,760	※施設使用料は、掛川市へ収入される
b) 指定管理料	8,156,000	8,156,000	8,858,000	
収支差額 a) - b)	△ 8,143,040	△ 8,123,060	△ 8,834,240	

(2)利用料金制度施設又は指定管理料・利用料金併用制度施設

(単位:円)

区分	H27決算額	H28決算額	H29決算額	備考
a) 施設利用料金収入				※施設利用料金は、指定管理者へ収入される
b) 収支差額(a-トータルコスト)				
c) b)に対する市の支出額(指定管理料)				

(3)自主事業及びその他事業の状況

(単位:円)

区分	H27決算額	H28決算額	H29決算額	備考
a) 自主事業の収入	14,314,115	17,737,825	16,933,830	
b) 自主事業の支出	13,224,173	14,979,498	14,178,727	
収支差額 a) - b)	1,089,942	2,758,327	2,755,103	
c) その他事業の収入				
d) その他事業の支出				
収支差額 c) - d)	0	0	0	

IV 担当課による評価

(1) 施設設置目的の達成度

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	設置目的を達成できている	3	【達成できていない点・主な課題】 ・ 【いつまでに、どのように対応するか】 ・
2	設置目的をほぼ達成できている。		
1	設置目的を一部達成できていない。		
0	設置目的を達成できていない。		

(2) 協定書に記載した業務要求水準の達成度 <達成 3点、8割達成 2点、6割達成 1点、6割以下の達成度 0点>

評価項目	要求水準	実績	評価	改善を要する点
A 施設全体の満足度	90	91	3	【達成できていない点・主な課題】 ・ 【いつまでに、どのように対応するか】 ・
B サービス内容の満足度	90	86	2	【達成できていない点・主な課題】 ・各種講座、体験会の内容に対し利用者のニーズが多様で検討が必要。 【いつまでに、どのように対応するか】 ・昨年と比べ評価が30%上昇している為、引き続き利用者等の聞き取りにより反映していく。
C 従業員対応の満足度	90	91	3	【達成できていない点・主な課題】 ・ 【いつまでに、どのように対応するか】 ・
D 施設安全対策の満足度	90	100	3	【達成できていない点・主な課題】 ・ 【いつまでに、どのように対応するか】 ・
E 美観・清潔感の満足度	90	89	2	【達成できていない点・主な課題】 ・清掃の意識はほぼ行き届いている。 【いつまでに、どのように対応するか】 ・引き続きトイレ等の清掃管理の充実をはかる。
F 施設の利用者数	95,000	113,307	3	【達成できていない点・主な課題】 ・ 【いつまでに、どのように対応するか】 ・

※協定書の業務要求水準及び実績を記載し、評価については要求水準に達していれば3、8割達成は2、6割達成は1、6割以下は0としてください。

(3) 収支の改善状況

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	前年度より収支状況が向上している。	1	【達成できていない点・主な課題】 ・使用料金制の施設で、収入は研修室の使用料のみである。 【いつまでに、どのように対応するか】 ・研修室の利用者数は多いが、ほとんどが指定管理者が行う事業の参加者であり、指定管理者実施事業の使用料は減免となる為、一般利用者を増やすよう周知を図る。
2	前年度より収支差額が縮小(改善)している。		
1	前年度と同等の収支差額になっている。		
0	前年度より収支差額(赤字)が増えている。		

(4) 安全対策・危機管理体制など

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	利用者の安全対策や危機管理体制は万全である。	3	【達成できていない点・主な課題】 ・ 【いつまでに、どのように対応するか】 ・
2	万全とは言えないが、事故等が発生する確率は低い。		
1	安全対策・危機管理体制は整っているが、昨年度事故等が発生している。		
0	利用者の安全対策や危機管理体制に不備があり、改善が必要である。		

(5) 本施設(事業)の継続性と行政の関与について

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	民間が実施できる事業であり、行政が実施しなくてよい。 (施設の貸付、売却、譲渡、独立採算制などを検討)	2	【達成できていない点・主な課題】 ・田園空間整備事業で整備した広域的な案内拠点施設であり、事業の目的に沿った事業展開や事業効果が求められる。 【いつまでに、どのように対応するか】 ・行政は常に設置目的にあった事業を推進出来ているか、また事業の効果について関与する必要がある。
2	民間が実施できるが、行政の関与が必要である。 (直営化、一定額指定管理料制度など)		
1	現在の指定管理で良いが、大幅な経営改善が必要である。 (独立採算制、一定額指定管理料制度への移行など)		
0	民間では実施できない、担い手がいないため、行政がやるべきである。 (直営化など)		

(6) 総合評価

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	本施設の指定管理者として、特に優れている。最適である。	3	【達成できていない点・主な課題】 ・ 【いつまでに、どのように対応するか】 ・
2	本施設の指定管理者として、問題はなく適当である。		
1	本施設の指定管理者として、やや劣っている。改善を要する。		
0	本施設の指定管理者として、著しく劣る。適当でない。		

合計

28

/ 33

V その他自由意見

--